

## 話の聴き方の達人をめざそう！！

### ①話している人の方を向く

⇒相手を見て、いい姿勢で、うなずきながら、笑顔で、終わりまで聴く。

### ②聴きながら、心の中で「おしゃべり」する 「考えながら聴く」

⇒「どこでそう考えたのだろう」「自分の考えとどこが同じ（ちがう）かな」「〇〇ってどういうこと」と心の中でおしゃべりする。

### ③聴きながら、「わからない」ことを発見する

⇒わかったつもりになっていないか。聞き流してしまった言葉がないか。わからないことがあった時は、「〇〇ってどういう意味？」「よくわからないからもう1回言って」と伝え手に言う。

### ④聴いたあと、話の内容を人に伝える 「リボイス」

⇒本当にわかったというのは、聴いた話の内容を人に話すことができること。

### ⑤聴いたあと、感想や意見が言える 「自分の言葉に置きかえて受け止める」

⇒相手が言ったことに対して、感じたことや考えたことを自分の言葉にする。毎日、すべての授業で意識させる。

### ⑥聴いたあと、話について質問する 「訊ねる、確認、問い返し」

⇒わからないから質問するのではなく、もっとわかるために質問をする。「もっと知りたいことは？」「くわしく知りたいことは？」「〇〇さんはどう思う？」「〇〇やんな？」

### ⑦仲間の話のつづきを想像する

⇒相手が伝えたいこと、困っていることを想像する。一方的に教える関係性ではなく、相手軸をもった対話的なコミュニケーションとなる。

### ⑧仲間の言葉を引き出す 「寄り添って訊く」

⇒「どう？」「いける？」「ここまでわかった？」「これってどういう意味？」「〇〇ってわかる？」「〇〇の公式を覚えている？」